

令和8年産  
JA米基準 美味しい あおば<sup>®</sup>米 コシヒカリの栽培こよみ 目指せ1等米比率90%以上

**あおば農業協同組合  
各地区農業技術者協議会**

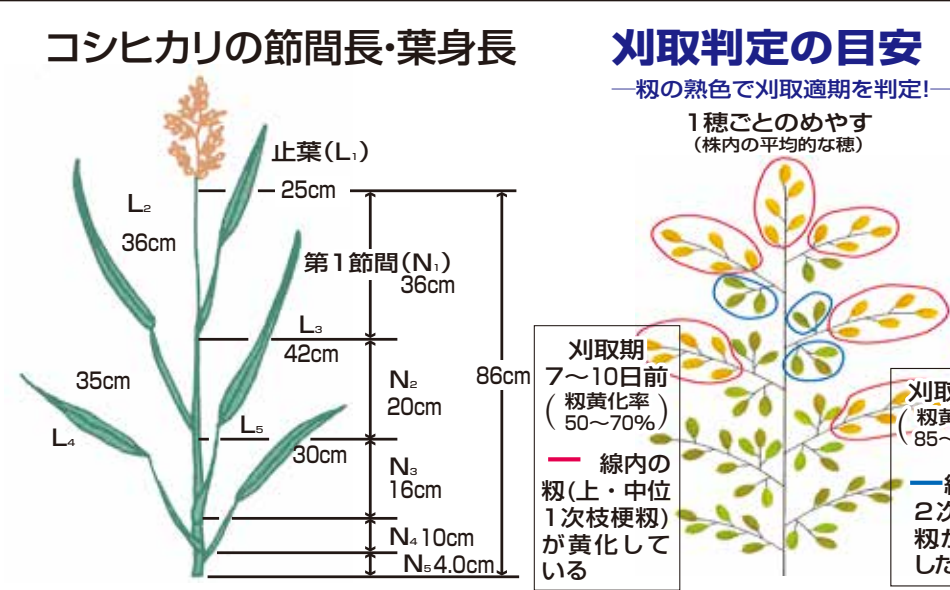
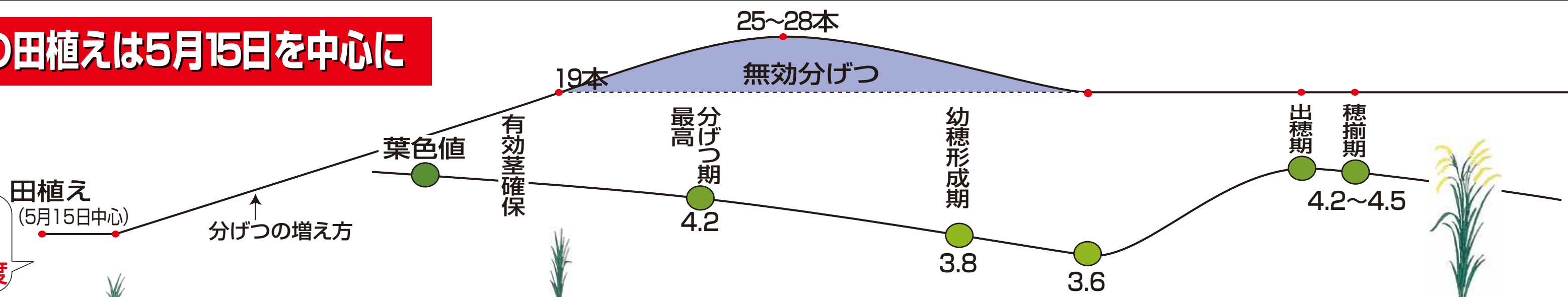
**今年度の重点対策** ①珪酸質資材、堆肥の継続施用 ②5月15日を中心とした田植え ③適期中干しの徹底 ④出穂後20日間の湛水管理 ⑤カメムシ防除の徹底

栽培基準を守った生産をしよう

収量構成要素の目標	
収量構成要素	目標値
目標収量(kg/10a)	540
m <sup>2</sup> 当たり穂数(本)	400
一穂粒数(粒)	70
m <sup>2</sup> 当たり粒数(粒)	28,000
登熟歩合(%)	87
玄米千粒重(g)	22.5

## 平坦地の田植えは5月15日を中心に

株数:70株  
本数:3~4本  
深さ:3cm程度



生育期		育苗期		活着期		有効分げつ期		無効分げつ期		幼穂形成期		穂ばらみ期		登熟期		収 穫					
水管理				やや深水		浅水管理		溝掘り		中干し		間 断 か ん 水		飽水管理		湛水管理					
月 日		4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		10月					
管 理 の ポ イ ン ト		●珪酸質資材の施用と深耕		●田面は均平にする ●代かきは練りすぎない ●土壌に応じた適正な施肥 ●（芽出し粃で150g 一箱当たり、乾粃120g） ●播種は26日を中心に		●田植え（15日を中心に） ●苗箱施肥の実施		●活着後は3cm程度の浅水管理 ●やや深水で保温		●昼間止め水、朝夕短時間かん水 ●除草剤は遅れずに散布 ●除草後は3cm程度の浅水管理		●（6月上旬までに完了） ●早めの溝掘り ●中干しの開始 （田植後1ヶ月までに開始）		●中干し後は間断かん水を徹底 ●畦畔、農道等の草刈りの徹底		●幼穂長の確認 ●（出穂15日前から） ●一回目の穂肥は幼穂長、葉色に応じて慎重に ●二回目は一回目の一週間後にしっかりと ●一発肥料田でも葉色が淡ければ追加穂肥 ●（出穂15日前から） ●一回目の穂肥は幼穂長、葉色に応じて慎重に		●基本防除二回目（傾穂期） ●（10日以上あけない事） ●（防除は7日間隔とし） ●基本防除一回目（穂揃期） ●穂揃期の葉色を4.2～4.5に誘導 ●刈取5～7日前までの間断かん水 ●フェーン時には事前にかん水 ●（早めの落水はしない）		●雑草・カメムシ対策（畦畔・こぼえ等 ●秋起こし ●堆肥の施用 ●珪酸質資材の施用 ●土づくり ●1.9mmのふるい目で丁寧に選別する ●目標仕上げ玄米水分14.5～15.0% ●（刈遅れによる胴割米の発生防止） ●籾黄化率85～90%を目安に適期刈取の実施	
		●播種～田植えは19日以内に計画する				●出穂後の湛水管理に備え田面を固める		●中干し、間断かん水により、しっかりと根づくりを行う		●幼穂形成期から飽水管理		●出穂後20日間は十分な湛水状態を保つ									

<p><b>病害虫防除</b></p>	<p><b>種子消毒</b> (種粒10kg当たり)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>モミガードC水和剤</li> <li>水20ℓに100g使用する</li> <li>24時間消毒で1回のみ使用可</li> <li>最初に種粒をよくゆす</li> <li>消毒後は水洗いしない</li> </ul>	<p><b>育苗時のカビ予防</b></p> <p>ナエファインフロアブル 播種時処理の場合</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>1,000倍液で1箱500mlかん注 (水100ℓに1本100mlで苗箱200枚分)</li> </ul>	<p><b>苗箱施薬</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>イネミズゾウムシ・イネドロオウムシ・イナゴ類</li> <li>ニカメイチュウ・白葉枯病・いもち病・紋枯病</li> </ul> <p><b>ヨーバルプライムEV箱粒剤</b></p> <p>1箱当たり50gを確実に施用 ・播種時(覆土前)～移植当日</p>	<p><b>随時</b></p> <p>いもち病・稲こうじ病・変色米 ノンプラス粉剤DL アミスターエイト (紋枯病も登録あり)</p> <p><b>紋枯病</b></p> <p>モンカットファイン粉剤20DL バシタックゾル</p>	<p><b>1回目</b></p> <p><b>穂揃期</b> いもち病・カメムシ類・ウンカ類</p> <p>ビームスタークル 粉剤5DL ・10aに4kg</p> <p>ビームエイトスタークル ゾル (1,000倍液) ・10aに100～150ℓ 散布</p>	<p><b>2回目</b></p> <p><b>傾穂期</b> カメムシ類・ウンカ類</p> <p>キラップ 粉剤DL ・10aに4kg</p> <p>キラップフロアブル (1,000倍液) ・10aに100～150ℓ 散布</p>	<p><b>随時</b></p> <p>カメムシ類・ウンカ類</p> <p>スタークル粉剤DL スタークル液剤10 トレボン粉剤DL トレボン乳剤</p>
---------------------	---	---	---	---	---	--	---

土壌に応じた適正な施肥

◆コシヒカリ肥料設計の目安(kg／10a)◆

土壌区分		一発肥料 (Jコートコシヒカリ)	分施体系(基肥206・追肥3号)		
			基肥	穂肥①	穂肥②
沖積	砂壤土	32～36	32～36	10	13
	壤土	27～33	25～30	10	12
	埴壤土	23～27	20～25	10	10
洪積	赤土	27～30	25～30	10	10
	黒ボク	32～36	32～36	10	12

\* 基肥量は地力や堆肥施用量に応じて加減しましょう。

\* 田植時に基肥施用量の確認をしましょう。

\* **一発肥料は安易に増やさず葉色をみて追加穂肥で対応する。**

詳細な施肥設計については  
各地区営農経済センターへお問い合わせ下さい。

除草剤は適期に散布 (ラベルを確認して正しく使用する事)

田植

田植後

(10a当たり使用量)

0 +1 +3 +5 +10 +15 +20 +30

初期剤  
+  
中期剤

田植同時兼用剤

初中期  
一発処理剤

ピラクロン粒剤 1kg  
(移植直後～ノビエ1.5葉期、但し移植後30日まで)

ベッカク粒剤 1kg  
(移植後0～5日)

ゼータタイガー粒剤・ジャンボ  
ブライオリティジャンボ  
(移植後5～12日)

田植同時兼用剤は  
雑草の状況を見て  
中期剤や後期剤を  
散布！

後期剤

レプラス粒剤・ジャンボ (移植後14日～ノビエ4葉期、収穫60日前まで)  
注1 ブイゴールSM粒剤 (移植後15日～ノビエ3.5葉期、収穫60日前まで)  
注1 15℃以下または30℃以上の場合は使用を避ける

ウィードコア粒剤  
ロイアント乳剤  
トドメバスマF液剤  
バサグラン粒剤  
ノミニー液剤  
トドメMF粒剤・乳剤  
ヒエクリーン豆つぶ

※留意点：やや深めに水を張って、散布後7日間は落水やかき流しをしない

品質・食味に差がでる土づくり

「土づくり」の3ポイント

1. 珪酸質資材100kgを目標に継続的な施用

2. 稲わら、堆肥・糞ガラ等の有機物の施用

3. 15cm以上の深耕の実施

◆土づくり資材の10a当たり標準施用量◆

資材名	珪酸質資材					
	スーパー ケイサン+	シリカ ロマン	有機加里入 シリカロマン	鶏糞良好	グリーン ウェイブDX	発酵鶏糞
施用量	90kg	100kg	100kg	100kg	90kg	75～105kg
特 徴	pHの矯正 ケイ酸の補給	pHの矯正 リン等の補給	シリカロマンに 有機質カ/をプラス	pHの矯正 リン酸等の補給	pHの矯正 腐植、リン等の補給	春施用の場合は 基肥窒素成分で 1kg減肥する

◎上記の中から必要な資材を選んで使用してください

栽培記録	区 分		珪酸質資材、肥料名		施 用 月 日		施 用 量		本田管理 (作業開始日)	耕起 ( 月 日 )		代かき ( 月 日 )		田植え ( 月 日 )		病虫害防除	区 分		時 期		農 薬 名		作 業 日		散 布 量	
	土づくり				月 日		kg/10a			中干し ( 月 日 )		落水 ( 月 日 )		刈取日 ( 月 日 )			育苗期	種子消毒				月 日		mℓ/ 箱		
					月 日		kg/10a								苗箱施薬					月 日		50 g/ 箱				
	施 肥	基 肥		月 日		kg/10a		区 分	農 薬 名		散 布 月 日		散 布 量		本 田			月 日		/10a						
		追 肥		月 日		kg/10a		除 草			月 日		/10a					月 日		/10a						
		穂肥①		月 日		kg/10a					月 日		/10a					月 日		/10a						
		穂肥②		月 日		kg/10a					月 日		/10a					随 時	月 日		/10a					

## 食の安全は栽培記録とGAPの確実な実践から

肥料・農薬名は農協の推奨品目です 農薬等は、記載されている使用基準を守って使用しましょう